

浅岡正雄先生定年退職記念号に寄せて

経済学部長 大 林 弘 道

浅岡正雄先生は、平成 14 年 3 月 31 日付けをもって本学を定年ご退職されました。

先生は東京都文京区にお生まれになり、昭和 19 年に東京高等師範学校附属中学校に入学され、学制改革により 4 年終了にて昭和 23 年 4 月に東京教育大学付属高等学校 2 年に編入学されました。同高等学校卒業後の昭和 25 年 4 月東京大学教養学部文科一類に入学し、さらに同大学経済学部経済学科に進学され、昭和 29 年 3 月に同学科を卒業されました。同年 4 月直ちに日本銀行に入行されました。そして、昭和 63 年 3 月まで、同行において主として調査局、考査局、統計局、金融研究所に勤務され、また、経済企画庁や海外経済協力基金にも出向し、活躍されました。考査局に勤務した際には銀行検査・資産査定、現在重大問題化している「不良債権調査」を経験されています。日本銀行に勤務されていた期間、先生は上のような得難い経験を踏まえて、日本金融史、とくに戦間期の日銀特融、銀行動揺、銀行合併などの研究に挑まれ、金融理論を歴史や制度に結びつけること、あるいは、歴史上の問題に現代的意義を汲み上げることを通して、研究と実務、理論と歴史ないし現実との橋渡しに努力されました。先生はそのような努力の成果を論文に発表されました。

このような日本銀行の勤務期間の研鑽をもって、先生は、昭和 63 年 4 月神戸大学経営学部には当時はお先進的な試みであった社会人教員として採用され、上記の理論と実務との橋渡しの期待の下に、助教授に就任されました。同大学においてご活躍後、東海大学短期大学部教授を経て平成 5 年 4 月に本学短期大学部教授に就任されました。短期大学部では金融論、国際ビジネス事情、ゼミナールを担当され、また、評議会評議員、さらに、平成 8 年 4 月から 2 年間短期大学部部長に就任され、短期大学部専攻科の創設に努力されました。そして、平成 12 年 4 月に本学経済学部に移籍され、定年ご退職まで同学部教授に就かれました。

先生はご尊父とともに二代にわたる日本銀行勤務と伺っております。そうした貴重なご経歴に基づくご見識を研究および教育に遺憾なく発揮され、大学の場にも新風をもたらしていただくことができました。先生は早い時期から講義における教材の視覚化やゼミナールにおけるディベートの採用に熱心に取り組まれました。また、先生の温厚、実直なお人柄は学生に慕われる源を形成し、同僚教員の信頼の基ともなりました。

先生には、ご退職後も本学経済学部の非常勤講師をご無理を省みずお願いしておりますが、今後とも健康にご留意され、お元気にご研究に一層の研鑽を積まれますようお願いいたします。